

坂東市4Hクラブは、7月29日から30日にかけて先進事例研修を実施しました。暑さが厳しい中での開催となりましたが、今回はクラブ員8名が参加しました。

1日目は、茨城県日立市十王の檜村ふぁーむを訪問し、販路開拓や有機野菜、加工品についての説明を受けました。檜村ふぁーむは、食べた方が笑顔になれるようにとの思いから、栽培期間中、農薬や化学肥料を使わないことにこだわり、約100種類の野菜を栽培しています。また、持続可能な農業を目指した経営を行い、2023年に行われたサステナアワードでは環境大臣賞を受賞しました。クラブ員は、面白そうと思ったことはすぐに実践する檜村氏の行動力や、農業に対する姿勢に感銘を受けていました。午後は、檜村ふぁーむの野菜を使用しているNICOkitchenを訪問し、野菜をふんだんに使用したランチをいただきながら意見交換を行いました。作業管理ソフトを活用した記録方法や、未来の農業について意見を交わし、充実した1日を過ごすことができました。

2日目は、栃木県宇都宮市の鹿沼化成工業を訪問し、有機質肥料の強みや菌体資材についての説明を受けました。クラブ員からは、「自家経営にも取り入れたい」との意見も聞かれ、実りのある研修になりました。

普及センターでは、今後も若手農業者の育成に向け、活動を支援していきます。

令和6年8月14日 坂東地域農業改良普及センター 森 晴香（担い手）

